



## 財団概要

### 1 沿革

当財団の母体となった病態代謝研究会は昭和44年（1969年）に山之内製薬からの寄付を基金として発足し、疾患の成因の生化学的さらには分子細胞生物学的な研究および薬剤の生体内代謝の研究に助成金を交付し、がん、生活習慣病をはじめとする各種疾患の機序解明、治療薬の進歩に貢献してまいりました。

平成17年4月山之内製薬と藤沢薬品工業とが合併しアステラス製薬の誕生にともない、藤沢薬品工業が主たる出捐（公益法人等に寄附をする）企業であった医薬資源研究振興会の事業を病態代謝研究会が継承する形で平成19年4月にその残余財産を引き継ぎました。医薬資源研究振興会は、昭和21年（1946年）に設立され、昭和47年以降、薬のシードとなる新たな天然物を中心とする創薬資源の探索と応用研究に助成し、我が国の創薬探索を支援してまいりました。新生「病態代謝研究会」は、疾患の機序解明と創薬資源研究を融合的に進め、病気のメカニズムを踏まえ、分子標的に対する多様性をもった創薬資源からの画期的新薬の開発、および臨床における安全性と経済性の整合的な利用を開発する研究を助成する活動を行っています。

平成20年12月1日からの公益法人改革関連三法(新法)施行に向けて、ほぼ1年前の平成20年1月から財団事務局として公益財団法人への移行検討を開始しました。その後、移行検討会を立ち上げて議論を重ね、6月21日開催の理事会で公益財団法人への早期移行を決議、新法施行後の平成21年1月7日に厚生労働省に「最初の評議員選任に関する許可申請書」を提出、4月20日に許可を得て4月28日最初の評議員選定委員会開催、5月28日に移行申請書を内閣府公益認定等委員会に提出しました。7月16日の公益認定等委員会による第1回ヒアリング後、幾多のやり取りを経て平成22年3月23日に内閣総理大臣より認定書を拝受致しました。平成22年4月1日に公益財団法人への移行登記を行い、移行申請書通り「アステラス病態代謝研究会」と財団名称も変更いたしました。

### 2 目的

当財団は、生命科学研究、とりわけ創薬・治療法の開発・実用化研究を奨励し、国民の保健と医療の発展および治療薬剤の進歩に貢献することを目的としております。

### 3 事業

当財団は、前項の目的を遂行するために日本国内全般において次の事業を行います。

- 1) 生命科学研究の助成
- 2) 研究助成資料に関する刊行物の発行および講演会、講習会の開催ならびにその助成
- 3) その他、当財団の目的を達成するために必要な事業

### 4 事業内容

#### ■助成事業（応募型）

当財団の事業は、生命科学の発展に寄与するために実施する公益目的事業としての助成事業（応募型）ひとつに括することができます。その中で、本財団の目的に沿う研究への助成金等の交付事業、研究報告会開催、刊行物発行等を実施しています。その概要は次の通りです。

## 1) 交付事業

### i) 研究助成金

「疾病の解明と画期的治療法の開発に資する研究」であり、「独創性、先駆性が高い萌芽的研究提案」、あるいは、「臨床的意義の高い成果が期待できる研究提案」を支援します。

特に、「個人型の研究」、「女性研究者」、「教室を立ち上げたばかりの研究者」、「留学から戻られたばかりの研究者」の支援に注力します。

### ii) 海外留学補助金

将来の日本の生命科学の発展に貢献できる人材を育成することを目的として、基礎的な研究能力を修得した日本人研究者が海外の研究機関に身を置き、加速化する生命科学の変化を体感しながら、世界トップレベルの研究者と切磋琢磨するための留学を支援します。

<助成交付者数・交付金額> (病態代謝研究会のみの累計)

項目	期間	交付者数	交付金額 (千円)
研究助成金 (研究奨励金)	S44年(設立)~H27年度	3,200名	2,573,300
海外留学補助金	S58年度~H27年度	416名	373,850
総計		3,616名	2,947,150
最優秀理事長賞 (副賞)	H16年度~H27年度	(27名)	27,000
竹中奨励賞 (副賞)	H24年度~H27年度	(4名)	2,000

注1: 最優秀理事長賞および竹中奨励賞は副賞ですので研究助成金とは別に集計。ただし、これらも公益目的事業の一環として実施していますので、助成総額は副賞分も含め2,976,150 (千円) とさせていただきます。

注2: 平成19年4月に事業継承した医薬資源研究振興会(医資研)分<1,357名、1,223,900(千円)>との合算累計: 交付者数: 4,973名、交付額: 4,200,050(千円)

注3: 平成23年度は、東日本大震災の被害に遭われた研究者の早期復興を願う緊急研究助成金を公募により交付しました。これら<94名、21,350 (千円)>も合わせると助成交付累計は、交付者数: 5,067名、交付額: 4,221,400 (千円) となります。

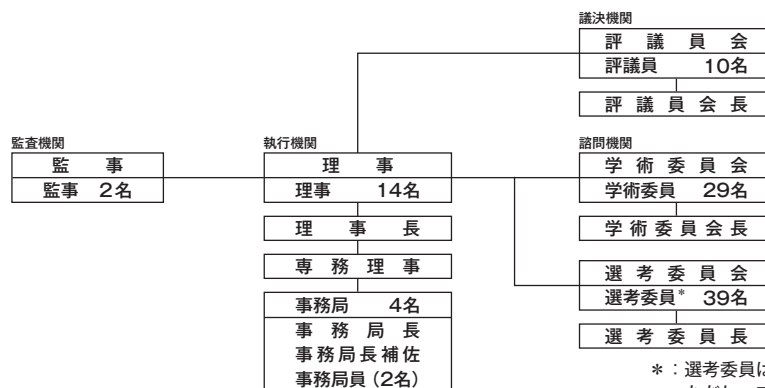
## 2) 研究報告会

前年度に交付した研究助成金により実施された研究の成果発表を目的に毎年10月に研究報告会を開催しています。特に優れた成果を挙げたと認められた研究に対し最優秀理事長賞を、今後の活躍が期待される若手研究者に竹中奨励賞を、授与しています。併せて、当財団役員等による講演会も実施しています。平成26年度より研究発表者の相互投票に基づき優秀発表賞を授与しています。

## 3) 刊行物

- (1) 財団報: 当財団の一年間の活動をまとめて、機関誌として発行。
- (2) 助成研究報告集: 研究報告会で発表された研究成果を研究年報として発行。

## 5 組織と人員 (平成28年3月31日現在)



\*: 選考委員は、理事、学術委員で構成される。  
ただし、アステラス製薬関係者は除く。

## 6 役員・評議員・職員名簿 (平成28年3月31日現在) (五十音順・敬称略)

### ■評議員

評議員会長  
評議員

野木森 雅郁 アステラス製薬(株) 代表取締役会長  
相澤 好治 北里大学 名誉教授  
大隅 典子 アステラス製薬(株) 社外取締役  
東北大学大学院医学系研究科附属 創生応用医学研究センター センター長  
岡島 悦子 東北大学大学院 医学系研究科 教授  
(株)プロノバ 代表取締役  
須田 年生 アステラス製薬(株) 社外取締役  
熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS) 機構長  
土井 健史 National University of Singapore, Professor  
大阪大学 未来戦略機構 部門長  
長澤 寛道 大阪大学大学院 薬学系研究科 教授  
東京大学 名誉教授  
長嶋 憲一 東京21法律事務所 弁護士  
中村 正彦 中村正彦税理士事務所 税理士  
野田 哲生 (公財)がん研究会 常務理事  
(公財)がん研究会 がん研究所 所長

### ■理事

理事長

専務理事  
理事(兼 選考委員長)  
理事(兼 学術委員長)  
理事

児玉 龍彦 東京大学 アイソトープ総合センター センター長  
東京大学 先端科学技術研究センター 教授  
内田 渡 アステラス製薬(株) 上席執行役員  
門脇 孝 東京大学大学院 医学系研究科 教授  
後藤 由季子 東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
一條 秀憲 東京大学 創薬機構 機構長  
東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
大谷 直子 東京理科大学大学院 理工学研究科 教授  
堅田 利明 東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
倉智 嘉久 大阪大学大学院 医学系研究科 教授  
袖岡 幹子 理化学研究所 主任研究員  
竹内 誠 アステラス製薬(株) 上席執行役員  
中里 雅光 宮崎大学 医学部 教授  
中山 俊憲 千葉大学大学院 医学研究院 教授  
藤井 信孝 京都大学大学院 薬学研究科 特別教授  
安川 健司 アステラス製薬(株) 上席執行役員

### ■監事

大谷 剛 アステラス製薬(株) 常勤監査役  
古川 康信 古川信康公認会計士事務所

### ■学術委員

学術委員長(兼 理事)  
学術委員

後藤 由季子 東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
稲葉 俊哉 広島大学 原爆放射線医学研究所 所長・教授  
井上 将行 東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
今井 由美子 秋田大学大学院 医学系研究科 教授  
志成 京都大学 物質-細胞統合システム拠点 副拠点長  
上田 啓次 京都大学 化学研究所 教授  
浦野 泰照 大阪大学大学院 医学系研究科 教授  
大嶋 孝志 東京大学大学院 薬学系研究科 教授  
小川 佳宏 九州大学大学院 薬学研究院 教授  
尾崎 紀夫 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 教授  
笠井 清登 名古屋大学大学院 医学系研究科 教授  
熊ノ郷 淳 東京大学大学院 医学系研究科 教授  
余 昭苑 大阪大学大学院 医学系研究科 教授  
佐々木 雄彦 熊本大学 発生病学研究所 教授  
秋田大学 生体情報研究センター センター長  
秋田大学大学院 医学系研究科 教授  
塩見 美喜子 東京大学大学院 理学系研究科 教授  
高柳 広 東京大学大学院 医学系研究科 教授  
竹居 孝二 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授  
徳山 英利 東北大学大学院 薬学研究科 教授  
中澤 徹 東北大学大学院 医学系研究科 教授  
根岸 学 京都大学大学院 生命科学研究所 教授  
別役 智子 慶應義塾大学 医学部 教授  
舩森 直哉 札幌医科大学 医学部 教授  
南 雅文 北海道大学大学院 薬学研究院 教授  
三輪 聡一 北海道大学大学院 医学研究科 特任教授  
柳田 素子 京都大学大学院 医学研究科 教授  
山下 敦子 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授  
山本 一夫 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授  
若槻 壮市 米国SLAC国立加速器研究所光学部門 教授  
スタンフォード大学 医学部 教授

### ■職員

事務局長  
事務局長補佐  
事務局員

茅切 浩 アステラス製薬株式会社より出向  
尾崎 まり子 同上  
石川 弘 同上  
中西 朋恵 同上

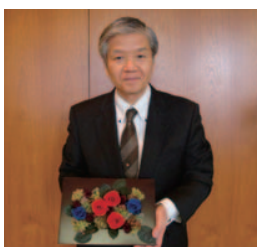
## 7 ご退任役員（五十音順）

評議員 相川 直樹 氏（慶應義塾大学名誉教授）



相川直樹氏は、平成24年6月に（公財）アステラス病態代謝研究会の評議員に就任されました。平成27年5月に辞任されるまでの3年間、医師としてのお立場から、また、多くの財団事業に関与されているご経験に基づき、若い研究者への助成のあり方、臨床領域での海外留学支援の方策、今後の財団活動の方向性などにつき、評議員会のご議論に熱心にご参加頂き、ご意見、ご指導を頂戴いたしました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

理事 小川 久雄 氏（熊本大学 大学院生命科学研究所 教授）



小川久雄氏は、平成19年4月に病態代謝研究会の評議員に就任され、平成22年4月（公財）アステラス病態代謝研究会の設立を機に理事に就任されました。平成28年1月に辞任されるまでの9年間、特に臨床研究に従事する研究者の減少を心配され、臨床研究者への助成のあり方、臨床研究申請書の評価視点、どのように臨床研究者からの応募数を増やすかなどについて熱心に理事会でご発言頂き、ご指導いただきました。臨床研究者からの申請数も増えております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

## 財団法人「病態代謝研究会」設立趣意書

近年医学の進歩は誠に目をみはるものがありますが、その原因の一つに医学的研究の手段として、物理的、化学的手段が大幅に導入されつつあることを挙げる事が出来ましょう。

医学の研究は、人体を形態的な面から追求することにより始まり、長い年月と多くの研究によって解剖学、組織学等の形態学が発達し、やがて、機能面の追及により、生理学が発達して、今日に至りましたが、生理学から、化学的分野が分化独立して、新しく生化学が体系づけられ、近代医学の基礎が作られました。

従来、形態学的、生理学的に捉えられていた疾病像が化学的に追求されるに及んで、人体に関する知識も革新され疾患の診断並びに、治療を、生化学的な目で見直す時期に到達いたしました。

その後、生化学の著しい進歩によって、生命の根底をなしている蛋白質の生合成、核酸の役割等が、次第に明らかになり、今や人体の機能は、分子の段階で解明されつつあり、分子生物学と呼ばれる新しい生物学も台頭してきています。

このような生化学の進歩に伴って、疾病の診断および治療上、生化学的所見が極めて重要な要素としてとりあげられるに至りました。

しかしながら疾病の把握は、病理学や病態生理学に生化学的視野を加えて、始めて完全となるのにかかわらず、生化学一般の目ざましい進歩発展に比し、病態それ自体の生化学的研究はまだ必ずしも十分体系づけられたとはいえません。従って現在各種疾患に対して更に高度な病態代謝学的アプローチが強く望まれております。

このような背景のもとで、私共は、疾病に代謝の面から光をあて、病態代謝学的研究を助成し、疾病の発生機序、体質および老化の機構を生体代謝または、分子生物学的観点より追及し、併せて、その治療薬剤との関係をもあきらかにすることにより、医学、延いては、薬学の未開の分野を開拓し、国民の保健および医療の進歩と病態生化学の体系化とに些かなりとも貢献することを期して、この度、財団法人「病態代謝研究会」を設立し、寄附行為記載のごとき事業を行なおうとするものであります。

（昭和44年7月31日 財団法人 病態代謝研究会 設立許可申請書より、漢字・送り仮名を含めすべて原文のまま転記しています。）

## ご寄付の報告とお願い

当財団の助成事業の趣旨にご賛同頂き、平成27年4月から平成28年3月の1年間に、下記の通りご寄付をいただきました。頂戴しましたご寄付は研究助成事業の推進のため有効に活用させていただきます。

アステラス製薬株式会社 様	90,000,000 円
茅切 浩 様	10,000 円
石川 弘 様	10,000 円

当財団は今後とも研究助成事業を通して、日本の生命科学分野の発展に貢献して参る所存ですが、そのためには更なる事業基盤の充実が必要です。こうした趣旨をより多くの皆さまにご理解いただき、当財団へのご寄付について格別のご配慮を賜りますようお願いいたします。

なお、当財団など公益財団法人は、教育または学術の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与するものとして認定された法人で、これら法人に対して個人または法人が寄付を行った場合は、その個人・法人ともに税法上の優遇措置が与えられます。詳しくは当財団事務局まで、電話：03-3244-3397、あるいはEメール：byoutai@jp.astellas.com などでお問い合わせください。

## 平成27年度の財団活動トピックス

### ① 役員異動

相川直樹評議員が平成27年5月に辞任され、6月に後任評議員として相澤好治氏（北里大学名誉教授）が就任されました。小川久雄理事が平成28年1月に辞任され、安川健司氏（アステラス製薬株式会社 上席執行役員）が同年6月に理事に就任されました。

### ② 定款・規程類改定の件

公益認定取得後5年が経過し、公益財団法人として助成事業を推進する中で、定款および規程類に改訂が必要と思われる箇所が出てきましたので、これを整理し理事会、評議員会に提出し、ご議論頂き、ご承認を頂戴いたしました。公益認定申請の折に、縦・横・斜めと定款、規程類間の関連に注意し作成いたしました。時間の経過とともに新しい状況に遭遇したり、漏れに気がついたりもしました。定款・規程類の見直しには多くの時間を要しましたが、現状にマッチした、整合性の取れた定款・規程類が完成したと感じております。

### ③ 海外留学助成改革

平成27年度の海外留学補助金は、海外留学助成改革の理事会承認を得てからの第1回募集となりました。改革の骨子は①リスクをとって海外で世界トップレベルの研究者と切磋琢磨しようとする日本人研究者をより強力に応援すべく、助成金を200万円から最大で400万円へ増額すること、②面接を実施して本人の意欲を確認しつつ激励すること、③帰国後に研究報告会での報告を求めることです。

面接は、海外にすでに出ておられる研究者が多かったこともあり、Webシステムを利用して実施しました。被面接者の皆様には、面接で発表する研究内容・進捗に関する資料作成、面談システムに慣れて頂くための予行演習、面接への参加と貴重なお時間を割いていただきました。面接は徳山先生、児玉先生を中心に実施して頂きました。被面接者からは、「両先生からのコメントがとても励みになった。」、「両先生から激励頂いて嬉しかった」との感想を頂戴しました。面接の目的が達成されたことを感じております。

#### ④ マイナンバー制度への対応

いわゆるマイナンバー制度の運用が平成28年1月から開始されています。マイナンバーをその内容に含む特定個人情報の取り扱いに関しては、非常に厳格な安全管理措置が求められています。これに対応するため、特定個人情報を取り扱う業務すべてをアステラス製薬に委託することを理事会に提案し承認を頂戴しました。関連する特定個人情報保護方針を作成しホームページでも公開しています。

これらにより、新しいマイナンバー制度に適確に対応していけると感じております。

## 編集後記

ここに、アステラス病態代謝研究会の機関誌「財団報」の第9号（平成27年度版）を発行することができました。これもご協力いただいた多くの皆様のお陰です。この場をお借りして深謝いたします。

財団報編集の愉しみは、なんといってもご寄稿を読み、写真を拝見することです。お届けした研究助成金、海外留学補助金がどのように活用され、どのように活かされているのか、常に関心がございます。頂戴したご寄稿をひとつ、ひとつ拝読させて頂きながら、「あっ、そのように活用頂いたのか!」、「極めてタイムリーな助成となり、良かったなあ」、「そうか、そんな悩みをお持ちなのか、来年の応募要領ではこうしてみたらどうだろうか」などなど感動したり、考えさせられたりしております。お写真で元気に活躍されている姿や笑顔を拝見するたびに、「私も頑張らないと」とエネルギーを頂戴しております。

来年もまた多くのご寄稿とお写真を頂戴して、第1線の研究者の皆様の声をお聞かせいただき、助成活動に反映させていきたいと願っております。

(石川 弘)

## 財団報 No. 9

非売品

---

発行	2016年9月30日
編集	石川 弘
発行者	児玉 龍彦
発行所	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会 〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2-5-1 TEL: 03-3244-3397 FAX: 03-5201-8512 E-mail: byoutai@jp.astellas.com <a href="http://www.astellas.com/jp/byoutai/index.html">http://www.astellas.com/jp/byoutai/index.html</a>
印刷所	株式会社 ベスト・プリンティング

---

不許複製 禁無断転載